

教育実習リフレクションシート - よりよい教師になるためのチェックポイント10 -

学籍番号	
氏名	

項目	項目の説明	教育実習前に経験したこと・抱いていた考え方		教育実習中に経験したこと・学んだこと・実践したこと		今後の課題
		それぞれの項目について、教育実習前にどのような場面（日常生活や大学の授業など）で、教師として求められている知識や資質を経験して身につけてきたのかを書いて下さい。	実習前自己評価 (5段階)	それぞれの項目について、教育実習中のどのような場面で、教育実習前に身につけてきた知識や資質を実践することができたか、そしてその実践は子どもたちの成長にどのように貢献できたのかを書いて下さい。	実習後自己評価 (5段階)	それぞれの項目について、今後の自分の成長（教師として、または人間として）を促進するにはどうすればいいか、今後の課題を書いて下さい。
1 教科内容	教師は、自分が教えそして学習経験を創造することのできる、その中心的概念、探究の方法、学問領域の構造を理解している。ここでの学習経験とは、教科内容に関するこれらの側面を子どもたちにとって有意義なものにするようなものである。					
2 子どもたちの学習	教師は、子どもたちがどのように学習し発達するのかを理解している。そして、知的・社会的・個人的発達を支援する学習機会を提供することができる。					
3 多様な子ども	教師は、子どもによって学習の仕方がどのように違うのかを理解している。そして、個々の多様な学習者に応じた学習指導の機会を創造する。					
4 教授方略	教師は、批判的思考、問題解決、実践スキルについての子どもたちの発達を促進するための様々な学習指導方略を理解して用いている。					

項目	項目の説明	教育実習前に経験したこと・抱いていた考え方	教育実習中に経験したこと・学んだこと・実践したこと	今後の課題
5 学習環境	教師は、積極的な社会的相互作用、学習への活発な取り組み、自己の動機づけを促進する学習環境を創造するために、個人及びグループの動機づけや態度についての理解を用いる。			
6 コミュニケーション	教師は、教室における積極的な探究、協働、協力的相互作用を促進するために、効果的な言語的、非言語的、メディアのコミュニケーション技術の知識を用いる。			
7 指導計画	教師は教科内容、子ども、地域社会、教育目標に関する知識に基づいて、学習指導を計画する。			
8 評価	教師は、学習者の知的・社会的・身体的な持続的発達を評価し保証するために、形式的あるいは非形式的な評価方略を理解して用いる。			
9 反省と専門職としての成長	教師は、自分の選択や行為が他者（子ども、保護者、学習コミュニティの中での他の専門家）に与えた効果を継続的に評価する反省的实践家であり、専門職として成長するための機会を積極的に求めている反省的实践家である。			
10 協働、倫理、連携	教師は、子どもたちの学習や幸福を支援するために、学校の同僚、保護者、そしてより広範囲なコミュニティにおける機関との連携を促進する。			